

# 文教警察委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成30年1月24日（水）～1月25日（木）

## ◆調査先・調査内容

### ①大町町立小中一貫校 大町ひじり学園（佐賀県杵島郡大町町大字大町）

調査内容：地方都市における義務教育学校の運営、施設整備等について

平成28年4月に施行された改正学校教育法により、学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が新たな学校の種類として規定された。

大町町唯一の小中学校である本校は、23年度から小中一貫校としてスタートし、25年度に現在の一体型校舎に移転、28年4月には九州初の義務教育学校に移行した。

大分県においても、29年4月に大分市中心部の小中学校4校が統合され、県内初の義務教育学校である碩田学園が設置されたほか、国東市でも、武蔵町内の小中学校の再編・統合の枠組みとして義務教育学校の設置を検討している。

今後も、学校再編・統合等の際に、義務教育学校の設置検討が予想されることから、九州で最も早く義務教育学校となった本校の現状等を調査した。

<主な質疑等>

- ・義務教育学校のメリット、デメリットについて
- ・地域と学校との連携について



### ②福岡県立水産高等学校（福岡県福津市津屋崎4丁目）

調査内容：3県（福岡・長崎・山口）による実習船の共同運航について

福岡・長崎・山口の3県では、多様化する水産教育の充実や効率的・効果的な運航を目指し、全国で初めて県境を越えた連携により実習船「海友丸」が共同で建造・運航され、県立の水産系高校3校の実習に活用されている。

大分県では、海洋科学高等学校の実習船「新大分丸」の老朽化とその代船の建造が課題となっていたが、香川県立多度津高等学校の実習船「香川丸」の老朽化が進んでいた香川県と平成28年4月に建造・管理運営等に関する覚書を締結した。31年度の運航開始に向けて実習船を建造中であり、共同運航準備委員会において、人員、組織等の検討を香川県と行っている。

本校には、共同運航3県連絡調整会事務局が設置されており、3県による共同運航の状況や課題等を調査した。

<主な質疑等>

- ・乗組員、指導教員の身分について
- ・各県が共同実習船を利用する時期について
- ・共同運航のメリット、デメリットについて
- ・実習時の洋上投票について

